

# 新型インフルエンザ・ ニュースレター@青森県

26<sup>th</sup> NOVEMBER 2012 Vol2 Issue15

こんにちは、青森県保健衛生課です。  
多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。  
今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。

## Inside This Issue

- I. 鳥インフルエンザA/H5N1感染症例の報告について
- II. 新種のコロナウイルスによる感染患者の発生
- III. インフルエンザの発生状況・研究報告など

### I. 鳥インフルエンザA/H5N1患者の報告方法を変更

WHOは、11月21日、鳥インフルエンザA/H5N1のヒトへの感染症例の報告方法を変更すると発表

今後、WHOは、ヒトの鳥インフルエンザA/H5N1感染症例については、ウェブサイト「[ヒトと動物のインフルエンザリスク評価の要約](#)」により月報方式で提供することになります。また、ヒトのH5N1感染症例については、通常とは異なる傾向や潜在的なリスクの増大に関連した事案が発生した場合には「[Disease Outbreak News](#)」(感染症発生情報)により報告されることとなります。なお、国際保健規則第6条に基づき、WHO加盟国はH5N1感染症例及び新たなインフルエンザの感染症例はすべて、WHOに報告することとされています。

#### 感染症発生情報

<http://www.who.int/csr/don/en/index.html>

高病原性鳥インフルエンザリスク評価要約

[http://www.who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/HAI\\_Risk\\_Assessment/en/index.html](http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html)

### II. 新種のコロナウイルスによる感染

WHOは、11月23日、4人の新種のコロナウイルス感染患者の発生を報告

① 4人の患者は、サウジアラビアの3人(うち死亡1人)、カタールの1人の患者となっています。(このうち2人は、サウジアラビア当局やメディアによって既に公表されているもの)

② 現在、感染源、曝露の経路、ヒトヒト感染の可能性について、疫学、臨床管理及びウイルス学の分野にわたり調査が行われています。

③ サウジアラビアでの2人の患者については、同じ世帯に住む家族であったもので、2人とも同じ症状を呈しており、1人は死亡、他の1人の患者は回復しています。

さらに、この家族では、この2人の患者の他の2人の世帯員も同じような症状を呈しており、1人が死亡、もう1人は回復中となっています。死亡した者についての検査結果は保留となっていますが、回復しているもう1人の者についてはコロナウイルス検査結果は陰性でした。

④ WHOは、この2カ国以外にもウイルスが拡大している可能性があることから、原因不明の肺炎を呈した患者については、この2カ国への渡航歴やその他の関連性に関わらず、新種のコロナウイルスに関する検査を検討することとして、加盟国に対して要請しています。

⑤ このウイルスによる最初の患者はサウジアラビア人男性で6月24日に死亡、2番目の患者はカタール人男性で9月始めに発症後ロンドン市に搬送され、現在も入院中です。

⑥ 今回の報告により、2012年6月以降、確認された患者は6人(うち死亡2人)となりました。

#### 新種のコロナウイルス感染更新

[http://www.who.int/csr/don/2012\\_11\\_23/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2012_11_23/en/index.html)

### III. インフルエンザの発生状況・研究報告など

国際研究チームは、11月20日、新種のコロナウイルス、遺伝子配列がコウモリのコロナウイルスに類似と発表

この研究チームによると、今年6月に死亡したサウジアラビア人男性から分離された新種のコロナウイルスの遺伝子配列は、コウモリで発見されたコロナウイルスに最も密接に関連しているという初期の知見を支持しているとしています。それによると、HCoV-EMC/2012として知られる今回の新種のコロナウイルスは、東南アジア及び日本の2種類のコウモリのコロナウイルスに密接な関連があるとしています。

<http://mbio.asm.org/content/3/6/e00473-12>

国連食糧農業機関(FAO)は、11月19日、家禽等におけるH5N1発生の減少の兆候が見られると発表

FAOは、家禽及び野鳥における鳥インフルエンザA/H5N1の発生数が2011年半ばから減少し、2012年では第2四半期で大きく減少しているとしています。ただし、FAOは、すべての発生が報告されているわけではないため、世界的にH5N1を抑制できているとすることは難しいとしています。

<http://www.fao.org/docrep/016/ap387e/ap387e.pdf>

11月15日、エジプトのH5N1ウイルスが特にパンデミック・リスクの可能性があると報告

研究チームの報告では、エジプトでの鳥インフルエンザA/H5N1ウイルスが、ほ乳類における感染力を高める2つの変異をしており、他の地域のH5N1ウイルスと比べ、ヒトでのパンデミックを引き起こす、より大きな脅威となっているとしています。

<http://www.plospathogens.org/article/info:doi/10.1371/journal.ppat.1002932>